

「作業の手引き」に基づく  
教育・保育および地域子ども・子育て支援事業の  
量の見込みについて

## 注 意 事 項

本資料中における「量の見込み」は、国から示された手引きに基づき算出したものです。

手引きの算出方法は、「現状」と「希望」の選択肢の組み合わせにより、多面的な分析を行うものとなっています。

項目によっては、実績と著しく乖離した数値となっているものがあり、現実的には考えにくい組み合わせにより、該当者が加算や削除されていることなどが原因と思われ、他市においても、同じ項目で同様の結果が現れています。

そこで、項目によっては、当該資料の数値を参考とし、本市の現状や中期的な方向性を加味した上で、精度を高める工夫が必要と判断しています。

これらのことから、「量の見込み」については、今後、客観的な要素による補正・分析を行った上で、本会議に、算出根拠とともに区域ごとの「量の見込み」を示し、審議を経て決定していくこととします。

# 1. 人口推計

平成 21 年～平成 25 年（各年 4 月 1 日時点）の男女別各歳別人口を基に、センサス変化率法により人口推計を行った。

## 全市

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	3,813	3,793	3,781	3,746	3,706
1歳	3,900	3,879	3,859	3,847	3,810
2歳	3,891	3,908	3,887	3,867	3,855
3歳	3,914	3,898	3,915	3,894	3,874
4歳	3,872	3,889	3,873	3,890	3,869
5歳	4,068	3,867	3,884	3,868	3,885
6歳	4,034	4,062	3,861	3,879	3,863
7歳	3,994	4,030	4,058	3,858	3,875
8歳	3,946	3,998	4,034	4,062	3,862
9歳	3,922	3,944	3,997	4,032	4,060
10歳	4,196	3,930	3,952	4,004	4,040
11歳	4,080	4,200	3,934	3,956	4,008

## 01都心

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	1,008	1,000	998	990	979
1歳	1,028	1,023	1,015	1,013	1,005
2歳	1,045	1,043	1,038	1,030	1,028
3歳	1,048	1,050	1,048	1,043	1,035
4歳	1,031	1,036	1,039	1,037	1,032
5歳	1,090	1,040	1,045	1,047	1,046
6歳	1,087	1,113	1,062	1,067	1,069
7歳	1,036	1,097	1,124	1,073	1,077
8歳	1,035	1,040	1,100	1,128	1,077
9歳	1,023	1,040	1,046	1,105	1,134
10歳	1,145	1,027	1,044	1,051	1,109
11歳	1,131	1,146	1,028	1,045	1,052

## 02中部

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	1,022	1,031	1,043	1,050	1,052
1歳	1,037	1,044	1,053	1,065	1,072
2歳	1,023	1,048	1,055	1,064	1,076
3歳	1,039	1,024	1,049	1,056	1,065
4歳	1,011	1,051	1,036	1,061	1,068
5歳	1,048	1,009	1,049	1,034	1,059
6歳	1,009	1,041	1,003	1,042	1,027
7歳	951	1,001	1,033	995	1,034
8歳	929	957	1,008	1,040	1,002
9歳	934	933	962	1,013	1,045
10歳	893	937	936	965	1,017
11歳	861	897	941	940	969

## 03東部北

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	494	486	479	468	459
1歳	520	513	505	496	485
2歳	535	523	516	508	499
3歳	525	539	527	520	512
4歳	535	523	537	525	518
5歳	564	533	521	535	523
6歳	578	555	525	513	527
7歳	635	577	554	524	512
8歳	607	633	575	553	523
9歳	621	604	630	572	550
10歳	643	620	603	629	571
11歳	613	642	618	602	628

## 04東部南

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	315	311	308	303	297
1歳	314	312	308	305	300
2歳	300	308	306	302	299
3歳	304	292	300	298	294
4歳	298	298	286	294	292
5歳	313	291	291	279	287
6歳	310	302	280	281	269
7歳	300	308	300	278	279
8歳	318	298	306	298	276
9歳	318	316	296	304	296
10歳	339	318	316	296	304
11歳	327	339	317	316	295

## 05西部北

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	288	286	282	278	273
1歳	292	288	286	282	278
2歳	279	283	279	277	273
3歳	287	275	279	275	273
4歳	264	275	263	267	263
5歳	278	261	272	260	264
6歳	270	270	253	264	252
7歳	275	266	265	249	260
8歳	275	272	263	262	246
9歳	269	272	268	260	259
10歳	314	267	270	266	259
11歳	291	313	266	269	265

## 06西部南

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	485	487	487	486	484
1歳	490	489	491	491	490
2歳	466	485	484	486	486
3歳	473	471	491	490	492
4歳	485	468	466	485	484
5歳	516	487	470	468	487
6歳	509	519	491	474	471
7歳	510	512	522	494	477
8歳	480	509	511	521	493
9歳	475	479	508	510	520
10歳	540	477	481	510	512
11歳	540	542	479	483	512

## 07南部

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	217	214	212	207	202
1歳	233	229	226	224	219
2歳	252	235	231	228	226
3歳	240	257	240	236	233
4歳	251	242	259	242	238
5歳	262	251	242	259	242
6歳	277	268	257	248	265
7歳	291	275	266	255	246
8歳	300	293	277	268	257
9歳	282	300	293	277	269
10歳	322	282	300	293	277
11歳	317	323	283	301	294

注記：上記の「全市」は、「01 都心」から「07 南部」の各区域ごとの推計人口を合算したものでなく、「全市」として個別に推計した人口である。

## 2. 家庭類型の分類

### (1) 現在の家庭類型

#### 【現在の家庭類型】

タイプA＝ひとり親家庭

タイプB～Fは保護者の就労形態や就労時間によって下記の通り分類

父親		母親		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満		
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'			
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE		タイプD		
	120時間未満 下限時間以上						
	下限時間未満	タイプC'		タイプE'			
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない			タイプD		タイプF		

#### <下限時間（保育の必要性の下限時間）について>

- ・保育の必要性の下限時間（利用する人の就労時間の最低基準）については、48時間～64時間の間で各自治体が定めることとなっている。
- ・下限時間は保育所や放課後児童クラブの待機問題や施設整備に大きく影響するため、当資料では、「下限時間 48 時間の場合」「下限時間 64 時間の場合」の2つのパターンで見込み量を算出する。

### (2) 潜在的な家庭類型の算出方法

両親の現在の就労状況に母親の就労希望を反映させて「潜在的な家庭類型」を算出する。（詳細は国の手引きの通り）

例：パートタイムからフルタイムへの移行（C・C' から B への転換）

無業からフルタイムへの移行（D から B への転換、F から D への転換）

無業からパートタイムへの移行（D から C、C' への転換）

フルタイム・パートタイムから無業への以降（B から D への転換、C から D への転換）など

## 【家庭類型別割合】

### ■ 下限時間 48 時間の場合

#### I. 家庭類型集計結果

シートA

#### ■ 0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	10	0.01	10	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	562	0.44	598	0.47
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	202	0.16	193	0.15
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	118	0.09	121	0.10
タイプD 専業主婦(夫)	359	0.28	333	0.26
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	4	0.00	3	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.00
タイプF 無業×無業	13	0.01	9	0.01
全体	1268	1.0	1268	1.0

#### ■ 0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	2	0.01	2	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	96	0.48	99	0.50
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	32	0.16	30	0.15
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3	0.02	7	0.04
タイプD 専業主婦(夫)	66	0.33	60	0.30
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプF 無業×無業	1	0.01	0	0.00
全体	200	1.0	200	1.0

#### ■ 1・2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	206	0.46	222	0.50
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	78	0.17	67	0.15
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	15	0.03	21	0.05
タイプD 専業主婦(夫)	138	0.31	129	0.29
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	4	0.01	3	0.01
全体	447	1.0	447	1.0

#### ■ 3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	259	0.42	276	0.45
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	92	0.15	96	0.15
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	100	0.16	93	0.15
タイプD 専業主婦(夫)	155	0.25	144	0.23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	8	0.01	6	0.01
全体	620	1.0	620	1.0

<下限時間 64 時間の場合>

I. 家庭類型集計結果

シートA

■0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	10	0.01	10	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	562	0.44	598	0.47
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	194	0.15	180	0.14
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	126	0.10	137	0.11
タイプD 専業主婦(夫)	359	0.28	330	0.26
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	4	0.00	3	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.00
タイプF 無業×無業	13	0.01	9	0.01
全体	1268	1.0	1268	1.0

■0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	2	0.01	2	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	96	0.48	99	0.50
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	32	0.16	30	0.15
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3	0.02	7	0.04
タイプD 専業主婦(夫)	66	0.33	60	0.30
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプF 無業×無業	1	0.01	0	0.00
全体	200	1.0	200	1.0

■1・2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	206	0.46	222	0.50
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	74	0.17	63	0.14
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	0.04	28	0.06
タイプD 専業主婦(夫)	138	0.31	126	0.28
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	4	0.01	3	0.01
全体	447	1.0	447	1.0

■3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	259	0.42	276	0.45
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	88	0.14	87	0.14
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	104	0.17	102	0.16
タイプD 専業主婦(夫)	155	0.25	144	0.23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	8	0.01	6	0.01
全体	620	1.0	620	1.0

## 【潜在家庭類型別児童数】

### ■ 下限時間 48 時間の場合

#### I-1. 潜在家庭類型別児童数

シートA-1

#### ■ 0歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	185	183	183	182	181
タイプB フルタイム×フルタイム	11,063	10,957	10,941	10,900	10,847
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,571	3,536	3,531	3,518	3,501
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,239	2,217	2,214	2,205	2,195
タイプD 専業主婦(夫)	6,161	6,102	6,092	6,070	6,040
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	55	55	55	54
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	18	18	18	18
タイプF 無業×無業	167	165	165	164	163
全体	23,458	23,234	23,199	23,112	22,999

#### ■ 0歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	38	38	38	37	37
タイプB フルタイム×フルタイム	1,887	1,878	1,872	1,854	1,834
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	572	569	567	562	556
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	133	133	132	131	130
タイプD 専業主婦(夫)	1,144	1,138	1,134	1,124	1,112
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	3,813	3,793	3,781	3,746	3,706

#### ■ 1・2歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	70	70	69	69	69
タイプB フルタイム×フルタイム	3,869	3,867	3,847	3,831	3,807
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,168	1,167	1,161	1,156	1,149
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	366	366	364	362	360
タイプD 専業主婦(夫)	2,248	2,247	2,235	2,226	2,212
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	17	17	17	17	17
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	52	52	52	52	51
全体	7,791	7,787	7,746	7,714	7,665

#### ■ 3歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	76	75	75	75	75
タイプB フルタイム×フルタイム	5,277	5,188	5,196	5,187	5,176
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,835	1,804	1,807	1,804	1,800
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,778	1,748	1,751	1,748	1,744
タイプD 専業主婦(夫)	2,753	2,707	2,711	2,706	2,701
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	115	113	113	113	113
全体	11,854	11,654	11,672	11,652	11,628

## ■ 下限時間 64 時間の場合

### I-1. 潜在家庭類型別児童数

シートA-1

#### ■ 0歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	185	183	183	182	181
タイプB フルタイム×フルタイム	11,063	10,957	10,941	10,900	10,847
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,330	3,298	3,293	3,281	3,265
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,535	2,510	2,507	2,497	2,485
タイプD 専業主婦(夫)	6,105	6,047	6,038	6,015	5,986
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	55	55	55	54
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	18	18	18	18
タイプF 無業×無業	167	165	165	164	163
全体	23,458	23,234	23,199	23,112	22,999

#### ■ 0歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	38	38	38	37	37
タイプB フルタイム×フルタイム	1,887	1,878	1,872	1,854	1,834
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	572	569	567	562	556
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	133	133	132	131	130
タイプD 専業主婦(夫)	1,144	1,138	1,134	1,124	1,112
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	3,813	3,793	3,781	3,746	3,706

#### ■ 1・2歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	70	70	69	69	69
タイプB フルタイム×フルタイム	3,869	3,867	3,847	3,831	3,807
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,098	1,097	1,092	1,087	1,080
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	488	488	485	483	480
タイプD 専業主婦(夫)	2,196	2,195	2,183	2,174	2,161
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	17	17	17	17	17
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	52	52	52	52	51
全体	7,791	7,787	7,746	7,714	7,665

#### ■ 3歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	76	75	75	75	75
タイプB フルタイム×フルタイム	5,277	5,188	5,196	5,187	5,176
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,663	1,635	1,638	1,635	1,632
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,950	1,917	1,920	1,917	1,913
タイプD 専業主婦(夫)	2,753	2,707	2,711	2,706	2,701
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	115	113	113	113	113
全体	11,854	11,654	11,672	11,652	11,628

### 3. 教育・保育の量の見込みの算出

---

#### (1) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

##### ①対象

年 齢：3歳以上

潜在家庭類型：C'、D、E'、F

##### ②利用意向率

###### ■国の手引き

問16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

###### ■高松市の考え方

高松市調査票では問8で「1. 幼稚園（預かり保育を含む）」としているため、問8で「1. 幼稚園（預かり保育を含む）」と回答し、かつ問8-1で「1日当たり5時間以下」の利用を希望をしている者または問8で「認定こども園」を選択した者の割合を算出する。

⇒非常に人数が少なくなるため、大阪府版手引きを参考に下記の通りとした

###### <大阪府版手引きより>

上記対象者について、問20（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問20で「1. 幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」または「2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）」または「4. 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）」を選択した者の割合（但し、未回答を除いて割り戻す）を算出する。（国によると、ここで算出する利用意向率は100%に近い数字になるとの説明を受けている。）

###### <高松市の算出方法>

高松市調査票問8で「1. 幼稚園（預かり保育を含む）」または「3. 認定こども園」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

##### ③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

<量の見込みの算出プロセス> (例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量)

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家族類型(割合)	=	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	11,854	×	0.006	=	76
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.445	=	5,277
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.155	=	1,835
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	0.150	=	1,778
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.232	=	2,753
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.002	=	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業		×	0.010	=	115

<ニーズ量の算出>

①<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)

	c:家族類型別児童数		d:利用意向率(割合)	=	e:ニーズ量(人)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,778	×	0.722	=	1,284
タイプD 専業主婦(夫)	2,753	×	0.889	=	2,447
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業	115	×	0.833	=	96

以下、同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 28 年度～31 年度の見込み量の算出を行った結果は以下の通りである。

<1号認定(認定こども園及び幼稚園)の見込み量>

(単位:人)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	3,827	3,762	3,768	3,762	3,754
下限64時間の場合	3,961	3,894	3,900	3,894	3,886

(2) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）

①対象

年 齢：3歳以上

潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

■国の手引き

問15-1（平日定期的に利用している教育・保育の事業）に回答した者のうち、問15-1で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

■高松市の考え方

問7（平日定期的な教育・保育事業を利用している）に回答したもののうち、問7-1で「1. 幼稚園（預かり保育を含む）」と回答している者の割合を算出する。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間48時間の場合の平成27年度の見込み量）

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	11,854	×	0.006 = 76
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.445 = 5,277
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.155 = 1,835
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	0.150 = 1,778
タイプD 専業主婦(夫)		×	0.232 = 2,753
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.002 = 19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		×	0.000 = 0
タイプF 無業×無業	×	0.010 = 115	

<ニーズ量の算出>

②<2号認定>(幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	76	×	0.750 = 57
タイプB フルタイム×フルタイム	5,277	×	0.197 = 1,039
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,835	×	0.531 = 975
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	×	1.000 = 19

以下、同様に下限時間48時間及び下限時間64時間別に平成28年度～31年度の見込み量の算出を行った結果は以下の通りである。

<2号認定(幼稚園)の見込み量>

(単位:人)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,091	2,055	2,059	2,055	2,051
下限64時間の場合	1,999	1,966	1,969	1,965	1,961

### <幼稚園利用者の見込量>

前述の「1号認定」と「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」が、現状の幼稚園利用者であると考えられるため、実態の推移と見込量を比較すると以下の通りである。

(単位:人)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	7,088	6,994	6,750	6,852	6,748	-	5,918	5,818	5,827	5,817	5,805
下限64時間の場合							5,961	5,860	5,869	5,859	5,847

※実態は「幼稚園」利用人数

※実態は「幼稚園利用者」

推計は、「1号認定」＋「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」

### (3) 2号認定（認定こども園及び保育所）

#### ①対象者

年 齢：3歳以上

潜在家庭類型：A、B、C、E

#### ②利用意向率

##### ■国の手引き

上記対象者について、問 16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）から、「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」の割合を控除した割合を算出する。

##### ■高松市の考え方

上記対象者について、問 8-1（平日定期的に利用したい教育・保育の事業（MA））に回答した者のうち、「1. 幼稚園（預かり保育を含む）」から「9. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択した者の割合（但し、「利用したいと思う事業はない」「無回答」を除いて割り戻す）から、「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」の割合を控除した割合を算出する。

#### ③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量）

##### ■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	11,854	0.006	76
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	5,277
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	1,835
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.150	1,778
タイプD 専業主婦(夫)		0.232	2,753
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.010	115

##### ③<2号認定>(認定こども園及び保育所)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	76	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	5,277	0.785	4,141
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,835	0.437	802
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	0.000	0

以下、同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間、それぞれ平成 28 年度～31 年度の算出を行った結果は以下の通りである。

< 2号認定（認定こども園及び保育所）の見込み量 >

(単位:人)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	4,871	4,841	4,843	4,954	5,088	-	4,944	4,860	4,868	4,859	4,849
下限64時間の場合							4,944	4,860	4,868	4,860	4,850

※実態は「保育所」(3～5歳児)利用人数

■国の手引きより

(1) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）、(2) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）及び(3) 2号認定（認定こども園及び保育所）の数は、現在幼稚園又は認可保育所を利用している自市町村に居住する3～5歳の子どもの数と同じかそれを上回ることが基本であると考えられるため、これと異なる結果となっている場合には、適切な補正が必要。

< 3～5歳の幼稚園・保育所・認可外保育施設利用を希望している合計児童数 >

(単位:人)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	12,045	11,925	11,710	11,926	11,981	-	10,861	10,678	10,695	10,676	10,654
下限64時間の場合							10,904	10,720	10,737	10,718	10,696

※実態は3～5歳で「幼稚園」「保育所」「認可外保育施設」利用人数合計

#### (4) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

##### ①対象

年齢：0歳、1・2歳の区分で算出する。

潜在家庭類型：A、B、C、E

##### ②利用意向率

###### ■国の手引き

上記対象者について、問 16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問 16 で「3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

###### ■高松市の考え方

上記対象者について、問 8-1（平日定期的に利用したい教育・保育の事業（MA））に回答した者のうち、「2. 認可保育所」から「9. 居宅訪問型保育」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

##### ③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量）

###### ■0歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	3,813	0.010	38
タイプB フルタイム×フルタイム		0.495	1,887
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.150	572
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.005	19

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	38	0.500	19
タイプB フルタイム×フルタイム	1,887	0.950	1,792
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	572	0.931	532
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	1.000	19

###### ■1・2歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	7,791	0.009	70
タイプB フルタイム×フルタイム		0.497	3,869
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.150	1,168
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	17

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	70	1.000	70
タイプB フルタイム×フルタイム	3,869	0.907	3,508
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,168	0.964	1,126
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	17	0.000	0

以下、同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 28 年度～31 年度の見込み量の算出を行った結果は以下の通りである。

＜3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の見込み量＞

■0歳児家庭のみ

(単位:人)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	440	446	443	471	434	-	2,363	2,350	2,343	2,321	2,296
下限64時間の場合							2,363	2,350	2,343	2,321	2,296

※実態は「保育所」(0歳児)利用人数

■1・2歳家庭のみ

(単位:人)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,783	2,843	2,956	3,078	3,068	-	4,703	4,701	4,676	4,657	4,627
下限64時間の場合							4,631	4,629	4,605	4,586	4,557

※実態は「保育所」(1～2歳児)利用人数

ニーズ調査に基づく見込み量では、0歳児及び1・2歳児の保育利用率は、下限48時間、64時間いずれの場合も60%程度と極めて高く、保育所入所実績と乖離しているため、保育利用率を別途設定して推計する必要がある。

■0歳家庭のみ

①＜3号認定＞(認定こども園及び保育所＋地域型保育)

	推計児童数	ニーズ量
	人	人
タイプA ひとり親	3,813	19
タイプB フルタイム×フルタイム		1,792
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		532
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		19
全体	3,813	2,363

例) 平成 27 年度見込み。  
下限 48 時間の場合

充足率  
⇒ 62.0%

【注】上記の児童数「全体」は、0歳児人口総数であり、他の家族類型の児童も含まれる。(以下同様)

■1・2歳家庭のみ

①＜3号認定＞(認定こども園及び保育所＋地域型保育)

	推計児童数	ニーズ量
	人	人
タイプA ひとり親	7,791	70
タイプB フルタイム×フルタイム		3,508
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		1,126
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0
全体	7,791	4,703

充足率  
⇒ 60.4%

<参考>

ワークシートでは家庭類型に「育休中」の人数が含まれている。

3号認定は、これにニーズ調査から算出された保育利用率を掛け合わせるのので、見込み量が多くなっている。そこで、ワークシートを使用するが、潜在家庭類型別児童数から、育休中の人数を引いた人数を入力し、見込み量を算出する。

- 0歳児（タイプ ABCE 計）の育児休業中割合 : 48時間・64時間ともに 48.5%
- 1・2歳児（タイプ ABCE 計）の育児休業中割合 : 48時間・15.6%、64時間・15.9%

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量）

13 頁の推計児童数 3,813 人のうち、48.5% が育休であるから、これを引いた児童数（家庭）とする

**■ 0歳家庭のみ**  
 <家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b.潜在家族類型(割合)	=	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親		0.010	=	20
タイプB フルタイム×フルタイム	1,964	0.495	=	972
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.150	=	295
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.005	=	10

<ニーズ量の算出>  
 ①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数	d.利用意向率(割合)	=	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	20	0.500	=	10
タイプB フルタイム×フルタイム	972	0.950	=	923
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	295	0.931	=	274
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	10	1.000	=	10

**■ 1・2歳家庭のみ**  
 <家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b.潜在家族類型(割合)	=	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親		0.009	=	59
タイプB フルタイム×フルタイム	6,575	0.497	=	3,265
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.150	=	986
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.002	=	15

<ニーズ量の算出>  
 ①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数	d.利用意向率(割合)	=	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	59	1.000	=	59
タイプB フルタイム×フルタイム	3,265	0.907	=	2,960
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	986	0.964	=	950
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	15	0.000	=	0

13 頁の推計児童数 7,791 人のうち、15.6% が育休であるから、これを引いた児童数（家庭）とする

以下、同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 28 年度～31 年度の見込み量の算出を行った結果は以下の通りである。

■0歳児家庭のみ

(単位:人)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	440	446	443	471	434	-	1,217	1,211	1,207	1,196	1,183
下限64時間の場合							1,217	1,210	1,207	1,196	1,183

※実態は「保育所」(0歳児)利用人数

■1・2歳家庭のみ

(単位:人)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,783	2,843	2,956	3,078	3,068	-	3,969	3,966	3,945	3,928	3,903
下限64時間の場合							3,897	3,895	3,874	3,858	3,834

※実態は「保育所」(1~2歳児)利用人数

## 4. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法

### (1) 時間外保育事業

#### ①対象者

年 齢：0～5歳

潜在家庭類型：A、B、C、E

#### ②利用意向率

##### ■国の手引き

上記の対象者について、問 16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答したもののうち、「3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択している、かつ、問 15-2 (2)（利用希望時間）で、「18 時以降」と記入してある場合の割合を算出する。（但し、無回答を除いて割り戻す）

※国の調査票・問 16 は、高松市調査票・問 8

国の調査票・問 15-2 (2) は、高松市調査票・問 7-2

#### ③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量）

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	23,458	0.008	185
タイプB フルタイム×フルタイム		0.472	11,063
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.152	3,571
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	56

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	185	0.429	79
タイプB フルタイム×フルタイム	11,063	0.466	5,150
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,571	0.214	765
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	0.000	0

【注】0～5歳以下家庭のみ

以下、下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に、平成 28 年度～31 年度の見込み量の算出を行った結果は次の通りである。

<時間外保育事業の実績と見込み量>

(単位:人)

	実績 H24年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	3,153	5,994	5,937	5,928	5,906	5,877
下限64時間の場合		5,938	5,881	5,873	5,850	5,822

## (2) 放課後児童健全育成事業

### ①対象者

年 齢：5歳児

潜在家庭類型：A、B、C、E

### ②利用意向率

#### ■国の手引き

上記対象者について、低学年については、問 26（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。高学年については、問 27（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。ただし、「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」の利用希望を選択し、かつ、6. 以外の選択肢も選択している者について、「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」の利用希望が週1～2回程度であれば、各自治体の実情に応じて、当該者の割合を控除して算出することも可能とする。

#### ■高松市の考え方

国の手引きに準じるが、高松市調査票では「1～4年生」と「5～6年生」の区分で聞いているため、推計もこの区分で行う。

※国の調査票・問 26 は、高松市調査票・問 15

国の調査票・問 27 は、高松市調査票・問 16

### ③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

<量の見込みの算出プロセス> (例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量)

<1～4年生>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	15,896	0.006	103
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	7,076
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	2,461
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	26

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	103	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	7,076	0.677	4,793
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2,461	0.539	1,325
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	26	0.000	0

【注】6歳～9歳家庭のみ

<5～6年生>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	8,276	0.006	53
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	3,684
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	1,281
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	13

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	53	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	3,684	0.362	1,333
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,281	0.269	345
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	13	0.000	0

【注】10～11歳家庭のみ

以下、下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 28 年度～31 年度の見込み量を算出すと次の通りである。

実態に比べて、ニーズが高く出ている。

<放課後児童健全育成事業の見込み量>

(単位:人)											
<1～4年生>											
	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,616	2,656	2,805	3,187	3,148	-	6,119	6,172	6,140	6,094	6,028
下限64時間の場合							6,054	6,107	6,075	6,029	5,964
※実態人数は「待機」を含む											
<5～6年生>											
(単位:人)											
	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	/	/	/	/	/	/	1,678	1,648	1,598	1,613	1,631
下限64時間の場合	/	/	/	/	/	/	1,636	1,607	1,558	1,573	1,590

### (3) 子育て短期支援事業

#### ①対象者

年 齢：0歳から5歳以下

潜在家庭類型：全てを対象

#### ②利用意向（利用意向率×利用意向日数）

##### ■国の手引き

###### ①利用意向率

上記の対象者について、問25（泊りがけの預け先）に回答した者のうち、「イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」、「オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合を算出する。

但し、「エ．仕方なく子どもを同行させた」や、問25-1（親族・知人にみてもらった時の困難度）の設問を設けている場合、「ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した者のうち、「1．非常に困難」「2．どちらかという困難」と回答した割合を加えることも可能とする。

###### ②利用意向日数

上記対象者について、問25（泊りがけの預け先）が「1．あった」者のうち、「イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」、「オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

##### <留意事項>

就学児に対して調査を行っていない場合は、就学前子どもに係る推計で足りるが、就学児に調査を行っている場合や事業の利用実績データがある場合には、市町村の判断で、当該調査の結果等を使用して、就学児に係る量の見込みを算出することも可能とする。

##### ■高松市の考え方

###### ①利用意向率

上記対象者について、問14（泊りがけの預け先）に回答した者のうち、「イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」、「オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合を算出する。

###### ②利用意向日数

国の手引きに準じる。

#### ③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

<量の見込みの算出プロセス> (例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量)

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	23,458	0.008	185
タイプB フルタイム×フルタイム		0.472	11,063
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.152	3,571
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.095	2,239
タイプD 専業主婦(夫)		0.263	6,161
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	56
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.001	19
タイプF 無業×無業		0.007	167

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	185	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	11,063	0.000	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,571	0.000	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,239	0.000	0
タイプD 専業主婦(夫)	6,161	0.009	57
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	0.000	0
タイプF 無業×無業	167	0.000	0

【注】0～5歳以下家庭のみ

以下、下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に、平成 28 年度～31 年度の見込み量を算出すると次の通りである。

実態は年度によって変動があるが、概ね妥当な見込み量となっている。

<子育て短期支援事業の見込み量>

(単位：人日)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	51	69	62	17	-	-	57	57	57	56	56
下限64時間の場合							57	56	56	56	56

#### (4) 地域子育て支援拠点事業

##### ①対象

年 齢：0歳から2歳

潜在家庭類型：すべてを対象

##### ②利用意向（利用意向率×利用意向回数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向回数）を求める。

##### ■国の手引き

###### ①利用意向率

上記の対象者について、問17（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過したり、相談をする場）（を利用している）」と回答した者の人数と、問18（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した者の人数を、回答者全体の人数（問17または問18の無回答の人数を除く）で割ったものを算出する。

###### ②利用意向回数

上記の対象者について、問17（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過したり、相談をする場）（を利用している）」と回答した者と、問18（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「1. 利用していないが、今後利用したい」「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した者の月当たり平均利用回数。

※国の調査票・問17は、高松市調査票・問19

国の調査票・問18は、高松市調査票・問20

##### ③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人回）」

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間48時間の場合の平成27年度の見込み量）

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	11,604	0.009	108
タイプB フルタイム×フルタイム		0.496	5,757
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.150	1,740
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.043	502
タイプD 専業主婦(夫)		0.292	3,390
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.003	36
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.002	18
タイプF 無業×無業		0.005	54

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人回)
タイプA ひとり親	108	4.667	502
タイプB フルタイム×フルタイム	5,757	1.587	9,138
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,740	1.338	2,327
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	502	2.292	1,151
タイプD 専業主婦(夫)	3,390	3.215	10,899
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	36	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	18	2.000	36
タイプF 無業×無業	54	10.667	574

【注】0～2歳以下家庭のみ

以下、下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に、平成 28 年度～31 年度の見込み量を算出すると次の通りである。

実態と比べると大きく乖離している。

<地域子育て支援拠点事業の見込み量>

(単位:人回)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	44,357	63,396	63,996	65,276	-	-	24,627	24,576	24,463	24,321	24,132
下限64時間の場合							24,598	24,547	24,434	24,292	24,104

(5) 一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業〔病児・緊急対応強化事業を除く〕）

(5) - 1 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①対象者

年 齢：3歳から5歳以下

潜在家庭類型：C'、D、E'、F

1) 1号認定による利用

■国の手引き

**【利用意向率】**

ア（1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合）×  
イ（不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合）  
を算出する。

※ア：以下の割合

上記対象者について、問16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」を選択 かつ 問24（不定期事業の利用意向）で、「1. 利用したい」と選択した者が、これらの問の回答者数に占める割合

※イ：以下の割合

問15-1（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択 かつ 問23（不定期事業の利用状況）で、「1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」から「6. その他」を選択した者のうち、問23で「1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」または「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）」を選択した者の割合

**【利用意向日数】**

上記対象者について、問24（不定期事業の利用意向）で「1. 利用したい」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

※国の調査票・問16は、高松市調査票・問8

国の調査票・問24は、高松市調査票・問13

国の調査票・問15-1は、高松市調査票・問7-1

国の調査票・問23は、高松市調査票・問12

**ア 家庭類型別児童数の算出**

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

**イ 量の見込みの算出**

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

< 量の見込みの算出プロセス > (例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量)

< 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) >

< 家族類型別児童数の算出 >

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	11,854	0.150	1,778
タイプD 専業主婦(夫)		0.232	2,753
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.010	115

< ニーズ量の算出 >

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,778	6.9	12,266
タイプD 専業主婦(夫)	2,753	9.7	26,677
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	115	2.4	277

【注】3～5歳以下家庭のみ

以下、下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に、平成 28 年度～31 年度の見込み量を算出すると次の通りである。

< 1号認定による利用の見込み量 >

(単位:人日)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	39,220	38,558	38,618	38,552	38,472
下限64時間の場合	40,889	40,199	40,262	40,193	40,110

2) 2号認定による利用

■国の手引き

【利用意向率】

1.0

※「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの」は、「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」を利用することによりニーズがカバー。

【利用意向日数】

2号認定のうち、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるものの間 12 (1) - 1 で把握する「就労日数」

※1週当たり α 日 × 52週

ア 家庭類型別児童数の算出

「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者」の数

イ 量の見込みの算出

「家庭類型別児童数 (人)」×「利用意向」=「量の見込み (人日)」

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量）

<2号認定による定期的な利用>

<家族類型別児童数の算出>

タイプA	ひとり親
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)

c:家庭類型別児童数	=	57
	=	1,039
	=	975
	=	19

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA	ひとり親	225.3	12,925
タイプB	フルタイム×フルタイム	263.2	273,457
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	238.1	232,196
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	260.0	4,971

【注】3～5歳以下家庭のみ

以下、下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に、平成 28 年度～31 年度の見込み量を算出すると次の通りである。

<2号認定による定期的な利用の見込み量>

(単位:人日)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	523,549	514,716	515,511	514,628	513,568
下限64時間の場合	508,004	499,433	500,204	499,347	498,318

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）見込み量 計>

(単位:人日)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	562,770	553,275	554,129	553,180	552,040
下限64時間の場合	548,893	539,632	540,466	539,539	538,428

(5) - 2 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外

①対象者

年 齢：0歳から5歳以下

潜在家庭類型：全てを対象

②利用意向（利用意向率×利用意向日数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

■国の手引き

【利用意向率】

上記の対象者について、問24（不定期事業の利用意向）に回答した者のうち、「1. 利用したい」を選択した者の割合

【利用意向日数】

上記の対象者について、問24（不定期事業の利用意向）で、「1. 利用したい」に回答のあったものの「平均日数」

※国の調査票・問24は、高松市調査票・問13

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間48時間の場合の平成27年度の見込み量）

<上記以外>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	23,458	0.008	185
タイプB フルタイム×フルタイム		0.472	11,063
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.152	3,571
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.095	2,239
タイプD 専業主婦(夫)		0.263	6,161
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.002	56
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.001	19
タイプF 無業×無業		0.007	167

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりのニーズ量
タイプA ひとり親	185	7.875	
タイプB フルタイム×フルタイム	11,063	7.325	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	3,571	9.211	
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	2,239	11.445	12,266
タイプD 専業主婦(夫)	6,161	11.316	26,677
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	56	23.331	
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	19	0.000	0
タイプF 無業×無業	167	6.124	277

【注】0~5歳以下家庭のみ

	問23「5. ベビーシッター」「6. その他」の利用(人日)	e:ニーズ量(日)
-タイプA		1,457
-タイプB		81,041
-タイプC		32,889
-タイプC'		13,353
-タイプD		43,033
-タイプE		1,295
-タイプE'		0
-タイプF		742

以下、下限時間48時間及び下限時間64時間別に平成28年度~31年度の見込み量を算出すると次の通りである。

＜幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外の見込み量＞

（単位：人日）

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	14,966	15,984	14,819	13,957	-	-	173,809	172,437	172,060	171,336	170,389
下限64時間の場合							172,144	170,800	170,420	169,699	168,755

※実態は「保育所における一時預かり」延べ人数

## (6) 病児・病後児保育事業

### ①対象

年 齢：0歳から5歳以下

潜在家庭類型：A、B、C、E

### ②利用意向（利用意向率×利用意向日数）

病児・病後児の発生頻度と利用意向日数を算出し、利用意向（利用頻度×利用意向日数）を求める。

#### ■国の手引き

##### ①病児・病後児の発生頻度

上記対象者について、問 22-1（病気やけがで事業ができなかった場合の対処方法）で、「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」に回答した者のうち、問 22-2（病児・病後児保育等の利用意向）で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した者と、問 22-1 で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の合計を問 22 の回答者全員で割る。

##### ②利用意向日数

上記 1 の対象者について、問 22-2（病児・病後児保育等の利用意向）で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答があった日数の総計と、問 22-1 で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した日数の総計を足し合わせる。

先に求めた「日数の総計」について、問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」、問 22-1 で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに回答があった人数の合計（「延べ」でなく「実人数」、「0日」回答は除く）で割った数。

#### ■高松市の考え方

##### ①病児・病後児の発生頻度

国の手引きに準じる。（但し、高松市では選択肢に「ファミリー・サポート・センターを利用した」はない。

##### ②利用意向日数

国の手引きに準じる。（但し、高松市では選択肢に「ファミリー・サポート・センターを利用した」はない。

※国の調査票・問 22-1 は、高松市調査票・問 11-1

国の調査票・問 22-2 は、高松市調査票・問 11-2

### ③見込み量の算出

＜量の見込みの算出プロセス＞（例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の見込み量）

＜0～5歳以下家庭のみ＞

＜家族類型別児童数の算出＞

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	23,458	0.008	185
タイプB フルタイム×フルタイム		0.472	11,063
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.152	3,571
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	56

＜ニーズ量の算出＞

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	185	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	11,063	5.789	64,048
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,571	3.516	12,555
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	0.000	0

以下、下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 28 年度～31 年度の見込み量を算出すると次の通りである。

ニーズ調査に基づく見込み量は、実態と乖離した結果となっている。

### ＜病児・病後児保育事業の見込み量＞

(単位:人日)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間	3,243	4,153	5,869	5,806	-	-	76,603	75,871	75,757	75,473	75,104
下限64時間							74,993	74,276	74,165	73,886	73,525

### ＜参考＞

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金において、「病児・病後児保育の実態把握と質向上に関する研究」に対して補助を行っており、当該研究班で実施した病児・病後児保育事業に関する実態調査の結果は下記のとおり。

(実態調査結果(平成 24 年度 1 年間の年齢別利用児童割合)

: 0 歳 10.1%、1 歳 32.6%、2 歳 18.1%、3 歳 12.6%、4 歳 10.3%、5 歳 7.9%、  
6 歳 4.2%、7 歳 2.4%、8 歳 1.2%、9 歳 0.4%、10 歳以上 0.2%)

※高松市では、子どもが病気の際に父親や母親が休んでみた人について、「病児・病後児保育を利用したいと思った」割合が高く、国のワークシートに基づく、膨大な見込み量になったものとみられる。

## (7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

### ①対象

年 齢：5歳児

潜在家庭類型：すべてを対象とする

### ②利用意向（利用意向率×利用意向日数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

#### ■国の手引き

##### ①利用意向率

上記対象者について、低学年・高学年ともに、問26、問27（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「7. ファミリー・サポート・センター」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

##### ②利用意向日数

上記対象者について、低学年は問26、高学年は問27で「7. ファミリー・サポート・センター」と回答のあったものの平均日数を算出する。

#### ■高松市の考え方

就学児については、国の手引きに準じて算出する。但し、高松市調査票では「1～4年生」と「5～6年生」の区分で聞いているため、推計のこの区分で行う。

※国の調査票・問26は、高松市調査票・問15

国の調査票・問27は、高松市調査票・問16

### ③量の見込みの算出

就学児：「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間48時間の場合の平成27年度の見込み量）

#### <1～4年生>

##### <家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	15,896	0.006	103
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	7,076
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	2,461
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.150	2,384
タイプD 専業主婦(夫)		0.232	3,692
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	26
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.010	154

##### <ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	103	0.0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	7,076	0.1	382
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2,461	0.1	190
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,384	0.0	0
タイプD 専業主婦(夫)	3,692	0.0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	26	0.0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	154	0.0	0

【注】6歳～9歳家庭のみ

<5～6年生>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	8,276	0.006	53
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	3,684
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	1,281
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.150	1,241
タイプD 専業主婦(夫)		0.232	1,922
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	13
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.010	80

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	53	0.0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	3,684	0.0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,281	0.1	99
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,241	0.0	0
タイプD 専業主婦(夫)	1,922	0.0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	13	0.0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	80	0.0	0

【注】10～11歳家庭のみ

<子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)の見込み量>

<低学年(高松市は1～4年生)>

(単位:人日)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	572	577	574	569	563
下限64時間の場合	516	520	518	514	508

<高学年(高松市は5～6年生)>

(単位:人日)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	99	97	94	95	96
下限64時間の場合	70	68	66	67	68

<小学生計>

(単位:人日)

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間	1,783	2,876	2,992	2,249	-	-	670	674	668	664	659
下限64時間							586	589	584	581	576

## ※ ワークシートについて (補足事項)

<量の見込み>算出プロセスとして掲載しているワークシートは、国が提示したものであり、アンケート調査に基づく数値を入力するようになっている。

「家庭類型別児童数」及び「利用意向(率)」については、別シートから計算された数値をそのまま引用することになっており、実データとしては四捨五入されていないが、表記としては、小数点第2位以下、四捨五入された値が表示されるよう設定されている。

具体的に、資料(3) - ① 32 ページ、5～6年生の「子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)」を例として挙げると、下記の通りであり、計算の結果、算出される「ニーズ量(人日)」の値は正しく行われている。他の事業についても同様である。

### 【 実際に入っている数値 】

#### <5～6年生>

##### <家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	8,276.00000	0.006452	53.39355
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445161	3,684.15484
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.154839	1,281.44516
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.150000	1,241.40000
タイプD 専業主婦(夫)		0.232258	1,922.16774
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.001613	13.34839
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000000	0.00000
タイプF 無業×無業		0.009677	80.09032

##### <ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	53.39355	0.000000	0.00000
タイプB フルタイム×フルタイム	3,684.15484	0.000000	0.00000
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,281.44516	0.077000	98.67128
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,241.40000	0.000000	0.00000
タイプD 専業主婦(夫)	1,922.16774	0.000000	0.00000
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	13.34839	0.000000	0.00000
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.00000	0.000000	0.00000
タイプF 無業×無業	80.09032	0.000000	0.00000



### 【 ワークシートの表記 】

#### <5～6年生>

##### <家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	8,276	0.0	53
タイプB フルタイム×フルタイム		0.4	3,684
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.2	1,281
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.2	1,241
タイプD 専業主婦(夫)		0.2	1,922
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.0	13
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.0	0
タイプF 無業×無業		0.0	80

##### <ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	53	0.0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	3,684	0.0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,281	0.1	99
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,241	0.0	0
タイプD 専業主婦(夫)	1,922	0.0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	13	0.0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	80	0.0	0

## ニーズ調査結果の今後の活用について

子ども・子育て支援新制度においては、保護者の申請を受けた市町村が客観的基準に基づき、保育の必要性を認定した上で給付を支給する仕組みとなる。

(子ども・子育て支援法第19条等)

いわゆる認定区分は1号から3号までとなり、それぞれの区分は次のとおりである。

認定区分	区分内容
1号	<u>満3歳以上</u> の小学校就学前子ども（次号に該当する小学校就学前子どもに該当するものを除く。）
2号	<u>満3歳以上</u> の小学校就学前子どもであって、保護者の労働または疾病その他の内閣府令で定める事由により <u>家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの</u>
3号	<u>満3歳未満</u> の小学校就学前子どもであって、前号の内閣府令で定める事由により <u>家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの</u>

市町村・都道府県は、幼児期の学校教育・保育の「量の見込み」「提供体制の確保の内容、実施時期」について、次の区分で設定（地域の実情等に応じてさらに細かい区分で設定することも可能）することとされている<sup>i</sup>。

・1号（3～5歳） ・2号（3～5歳） ・3号（0歳／1～2歳）

今回のニーズ調査結果分析に基づき、「量の見込み」（いわゆる需要）を定め、それに対する「提供体制の確保の内容、実施時期」（いわゆる供給）を明らかにし、需要が供給を上回る場合は、高松市子ども・子育て支援会議において意見をいただきながら、その不足分を整備する旨の市町村子ども・子育て支援事業計画を定めることとなる。

<sup>i</sup> 子ども・子育て支援新制度説明会(H26.1.24開催)資料2「確認制度について」p.10